



はじめ

2004年、歴史上類を見ない最多の死傷者を出し、全世界に大きな衝撃を与えたインドネシアの津波。当時、遠洋漁船に乗ってインド洋に出ていたマンシク(ソル・ギョング)は、予期せぬ津波に巻き込まれ、ほんの一瞬の判断ミスで、幼なじみのヨニ(ハ・ジウォン)の父を死なせてしまう。この事故のせいで、彼はヨニへの思いを伝えることができずにいた。しかし、ヨニの自分への思いを知り、ヨニのために素敵なプロポーズを準備する。

マンシクの弟でヘウンデの海洋救助隊員であるヒョンシク(イ・ミンギ)は、海の見回りをしていて、誤って海に転落して溺れていたヒミ(カン・イエウォン)を見つけ、紆余曲折の末に彼女を助ける。自分を助けてくれた純粋な青年にひと目ぼれしたヒミは、大胆な愛情表現で猛烈にアプローチする。

国際海洋研究所の地質学者キム・フィ(パク・ジュンフン)は、ヘウンデー帯の地殻の動きが尋常でないことを察知し、現地を訪れる。そこで7年前に離婚した妻のユジン(オム・ジョンファ)と娘のジミンに再会する。広告代理店で働くユジンは、大きな国際会議の仕事でヘウンデを訪れていた。キムは、ジミンが自分の存在を知らないという事実に複雑な心境になる。

そんな間にも海の状況は刻一刻と変わっていく。キムの予想通り、日本の対馬が沈下したのに伴い、メガ津波が発生する。海水浴に訪れた100万人の行楽客たち、平和な日常を送っているプサン市民に時速800kmの猛スピードで超大型津波が迫ってくる・・・。

最も幸せな瞬間に押し寄せた大きな試練、残された時間はわずか10分！津波でさえのみこめない彼らの物語が始まる！

